

令和4年度 第1回 堺市スポーツ推進審議会

令和4年10月18日

堺市スポーツ推進プランにもとづく 令和4年度の実施状況について

基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

○ 施策1 スポーツ・運動習慣定着による健康増進

● ビジネスパーソン世代の運動習慣化率の向上

運動・スポーツ実施率が低いビジネスパーソン世代を対象とし、事業所で体力測定会を実施

参加者数：市内6事業所、計426名（10月時点）

アンケート結果：「継続的に行いたい」、「自身の現状を知ることができ、有意義だった」

今後の予定：15か所での実施（令和4年度）

実施した事業所及び参加者に3か月後アンケートを実施



基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

○ **施策1** スポーツ・運動習慣定着による健康増進

● 高齢者の健康増進

65歳以上の市民を対象に体育館トレーニングジムの初回講習料の無料化

利用者数：123名（8月末現在）

アンケート結果：93%の利用者が「トレーニング室を継続利用したい」と回答



○ **施策2** 気軽にできるスポーツ機会の創出

● 出前講座にて気軽にできる運動の周知・啓発

職員が施設を訪問し、ポッチャ体験会や簡単な運動を紹介し、
身体を動かす大切さを伝えた

参加者数：57名

実施場所：北・東・美原区各老人福祉センター

アンケート結果：89%の参加者が「今後役立つ」と回答

基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

○ 施策2 気軽にできるスポーツ機会の創出

● 総合型地域スポーツクラブへの支援

市内の総合型地域スポーツクラブに加え、今後クラブの創設をめざす団体等に対し、「人材育成」「活動支援」を実施

「人材育成」

- ・総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会の受講費用を助成
⇒2団体（5名受講）

「活動支援」

- ・活動で使用するスポーツ用具の配付
⇒1団体



基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

○ 施策2 気軽にできるスポーツ機会の創出

● スポーツ推進委員の活動支援

【総会】

・地域のスポーツ活動を支え、本市と地域の連絡調整をしていただいている堺市スポーツ推進委員の総会を開催

日 程：令和4年7月12日（火）9月21日（水）の計2回

内 容：堺市民オリンピックに係る協力依頼など



【研修会】

・子どもから高齢者まで気軽に親しむことができるグラウンド・ゴルフを地域で普及するため、スポーツ推進委員等に対し実技研修会を実施

日 程：令和4年7月23日（土）

場 所：原池グラウンドゴルフフィールド

参加者数：29名



基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

○ 施策3 多彩なスポーツ活動を通じた交流促進

● 堺市民オリンピックによる地域交流

48回目となる全小学校区（市内全域）を対象とした大規模イベントを
感染症対策を徹底し開催

競技者以外の方も気軽に参加できるレクリエーション等を試行実施

日 程：令和4年10月10日（月・祝）

場 所：金岡公園陸上競技場など

競技種目：バレーボール、卓球、陸上競技（雨天のため、ソフトボール、
ゲートボール、グラウンド・ゴルフ競技は中止）

参加者数：約3,000名



基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

○ 施策3 多彩なスポーツ活動を通じた交流促進

● ブラインドサッカー体験会の実施

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー継承、
パラスポーツ普及のためブラインドサッカー協会の協力のもと、
吉本興業サバンナ八木氏をゲストに迎え体験会を実施

日 程：令和4年5月14日

場 所：J-GREEN堺

体験者数：16名（その他観覧者多数）



基本方針2 堺のスポーツの魅力の創出

○ 施策1 特色ある大規模スポーツ施設の活用

● 2022-23 V.LEAGUE プレシーズンマッチ in大浜だいしんアリーナ

堺ブレイザーズによる無料試合観戦イベントを開催

小・中・高生を対象としたレシーブ体験会を実施

日 程：令和4年9月25日（日）

場 所：大浜だいしんアリーナ

無料招待者数：1,000名（先着順）、他ふるさと納税シート

※体験会は32名参加



基本方針2 堺のスポーツの魅力の創出

○ **施策1** 特色ある大規模スポーツ施設の活用

- 原池公園の園地、野球場、スケートボードパーク、体育館等、施設全体を活用した世界最大級の障害物レース「SPARTAN RACE（スパルタンレース）」を12月に開催予定
- 全国大会の開催
 - ・全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会（8月 金岡公園体育館）
 - ・全国学生相撲個人体重別選手権大会（9月 大浜公園相撲場）
 - ・第89回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会（12月（予定）大浜だいしんアリーナ）
- 「JCI ASPAC 堺高石大会」の開会式、総会等を大浜だいしんアリーナで5月に実施



基本方針2 堺のスポーツの魅力の創出

○ 施策2 堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化

● ホームゲーム等の市民の観戦機会の提供

- ・オリックス・バファローズ：令和4年5月21、22日 @くら寿司スタジアム
堺市民10組20名 2軍戦無料招待
- ・セレッソ大阪：令和4年7月10日（日） @ヨドコウ桜スタジアム
堺市民1,000名 公式戦無料招待
- ・セレッソ大阪堺レディース：令和4年10月8日（土） @ヨドコウ桜スタジアム
大阪市・堺市民500名 公式戦無料招待
- ・堺ブレーザーズ：シーズン開幕後実施予定 @大浜だいしんアリーナ



基本方針2 堺のスポーツの魅力の創出

○ 施策3 世界で活躍する次世代人材の育成

● トップアスリートと子どもたちとの交流促進

オリンピック金丸祐三氏による走り方教室、競技実演を行う「FUN RUN」を堺市民オリンピック特別企画として実施

日 程：令和4年10月10日（月・祝）

場 所：金岡公園陸上競技場

参加者数：66名



● トップレベルチームによるスポーツ教室

オックス・バファローズOB選手による親子ティーボール教室の実施

日 程：令和4年9月19日（月・祝）

場 所：金岡公園野球場

対 象：5歳児から小学1年生

参加者数：40組（親子で参加）



堺市スポーツ推進プランにもとづく 令和5年度の主要取組について

- ① 女性参画促進プロジェクト（新規）
- ② 総合型地域スポーツクラブ推進事業（拡充）
- ③ 特色あるスポーツ施設の有効活用（継続）

① 女性参画促進プロジェクト（新規）

【目的】

- ・女性の運動・スポーツ実施率が男性より低い傾向にあり、女性の運動・スポーツ実施率を高めることにより、堺市スポーツ推進プランの目標達成に寄与する。
- ・また、国ではスポーツを通じた共生社会の実現をめざしており、スポーツに関わる女性を増加させ、女性のスポーツへの参画促進につなげる。



【主な取組】

「する」：女性アスリートによるスポーツ教室の開催など（関連施策:方針1-1）

「みる」：トップレベルチームと連携したスポーツの魅力発信など（関連施策:方針2-2）

「ささえる」：女性指導者育成プログラムの実施など（関連施策:方針1-3）



②総合型地域スポーツクラブ推進事業（拡充）

【内容】

- ・クラブ運営補助及び人材育成を目的とした支援を継続
（資格取得助成及び講習会への派遣など）（関連施策:方針1-2）
- ・「運動部活動の地域移行」を見据えた総合型地域スポーツクラブへの支援を検討（教育委員会及び各クラブと要調整）（関連施策:方針1-1）



③ 特色あるスポーツ施設の有効活用（継続）

【内容】

- ・特色あるスポーツ施設（大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館、くら寿司スタジアム堺、原池スケートボードパーク、J-GREEN堺等）を活用し、トップレベルチームとの交流イベント、無料観戦イベント、各種競技の全国大会などを開催することにより堺のスポーツの魅力向上、集客促進・交流人口の増加を図る。（関連施策:方針2-1）



運動部活動の地域移行について

運動部活動の地域移行について

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言 (スポーツ庁抜粋)

部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である。
- ✓ 一方、これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されている。

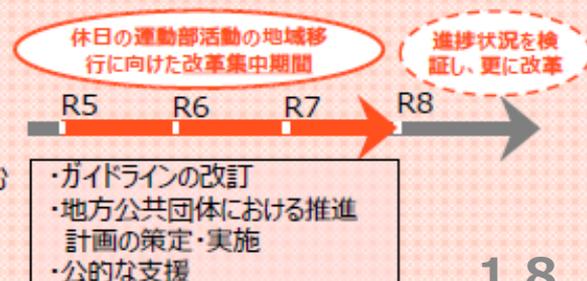
持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

めざす姿

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。(スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供)

改革の方向性

- まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする
 - 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目標
(合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す)
 - 平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
 - 地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む
 - 地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進
- ※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識



地域スポーツ団体へのヒアリング

【ヒアリング対象】

- ・堺市スポーツ協会加盟団体、市内総合型地域スポーツクラブ、民間スポーツ事業者などの運動部活動の受け皿となり得るスポーツ団体（計6団体）

【主な意見】

- ・提言内容の大枠は理解しているが、具体的にどのように現場として対応できるかについて検討できていない。
- ・個人種目や団体種目など競技種別により、対応できる可能性が変わってくる。
- ・指導者の確保や責任の所在、財源の確保が大きな課題であると思う。
- ・全市一斉に実施は難しいのではないかと。一部地域であれば実施可能なところもあるのではないかと。

【取組状況】

- ・現在、市教育委員会と調整中。
- ・地域移行に先行的に取り組んでいる地域、団体について調査。

令和4年度 第1回 堺市スポーツ推進審議会